

I 県立病院事業

令和6年度上半期における県立病院事業は、県民の健康保持のため、その多様な要望に応える医療を提供するとともに、県内の医療水準の向上という目標に向け、県の基幹病院として、また、地域の中核病院として期待されている役割を果たすべく鋭意運営に努めてきました。

今回は、令和6年4月1日から令和6年9月30日までの令和6年度上半期における県立病院事業の概況、経理の状況及び令和5年度の決算の状況などについてお知らせします。

1 事業の概況

今期の県立病院の利用状況は第1表のとおりであり、前年度同期に比較すると、入院患者では3,968人の増、外来患者では1,212人の減となっています。

第1表 令和6年度上半期患者利用状況

(単位：人)

区 分	病 院 別				前年度 同 期	差引増減 (△)
	中央病院	丸亀病院	白鳥病院	計		
入院患者数	70,201	14,902	15,826	100,929	96,961	3,968
外来患者数	113,767	14,436	32,445	160,648	161,860	△1,212
計	183,968	29,338	48,271	261,577	258,821	2,756

2 経理の状況

令和6年度上半期における収入及び支出の状況は、第2表のとおりです。

第2表 令和6年度病院事業会計経理状況

収益的収入及び支出

(単位：千円、%)

区分	科 目	予 算 額 A	執 行 済 額 B	比率 B/A
収 入	病院事業収益	28,683,675	14,014,345	48.9
	医業収益	24,453,355	11,913,445	48.7
	医業外収益	4,215,999	2,099,576	49.8
	特別利益	14,321	1,324	9.2
支 出	病院事業費用	30,911,380	12,304,770	39.8
	医業費用	29,580,307	12,182,595	41.2
	医業外費用	1,020,022	115,455	11.3
	特別損失	311,051	6,720	2.2

区分	科 目	予 算 額 A	執 行 済 額 B	比率 B/A
収 入	資 本 的 収 入	2,605,795	406,538	15.6
	企 業 債	1,581,000	0	0
	出 資 金	158	0	0
	他会計からの長期借入金	74,415	0	0
	固定資産売却代金	0	0	0
	補 助 金	137,147	0	0
	負 担 金	813,075	406,538	50.0
支 出	資 本 的 支 出	3,432,002	1,323,397	38.6
	建 設 改 良 費	1,800,063	546,169	30.3
	企 業 債 償 還 金	1,577,742	777,228	49.3
	他会計からの長期借入金返還金	54,197	0	0

3 令和5年度決算の状況

令和5年度における患者数は、入院患者数延196,940人、外来患者数延321,767人、合計518,707人で、前年度と比較すると、17,253人の減となっています。

収支状況については、総収益277億436万円に対して、総費用295億6,989万円、18億6,553万円の純損失が生じました。事業収益については、中央病院を中心に、診療報酬上の加算を取得していることにより診療単価が増加したことや、かかりつけ医との機能分化が一層進んだことによる診療単価の増加により、コロナ前の令和元年度決算を上回った、令和3年度・4年度を超える医業収益となったものの、コロナ病床確保補助金の縮小により医業外収益が減少したことから全体として減少となりました。事業費用については、人事委員会勧告などに伴う給与費の増加、物価高騰などに伴う材料費の増加、人件費上昇・物価高騰などに伴う委託料の増加などの要因により増加しました。

4 経営方針と主な取組

県立病院の患者数は、令和5年度も引き続き、コロナ前の令和元年度の水準まで回復していませんが、かかりつけ医との機能分化が促進され、中央病院を中心として高度医療・先進的医療の提供が行われるといった適切な医療提供の流れになってきていると考えています。

今後も、人件費や物価の上昇のほか、中央病院の移転新築等に伴う企業債の償還や、中長期的な視点に立った医療器械の更新等整備による資金需要の増加など、経営を取り巻く環境は厳しい状況が続くことが予想されますが、引き続き、経営改善に取り組み、県民から求められる質の高い医療を安定的に提供できるよう努めてまいります。

令和5年度においては、次のようなことに取り組みました。

(1) 良質な医療サービスの提供

- ・中央病院において、患者サポートセンターを活用した地域医療連携の更なる充実など、医療サービスの向上に取り組んだ
- ・丸亀病院において、訪問診療の継続に努めた
- ・白鳥病院において、地域包括ケア病床の積極的な運用に努める等、地域の特性に応じた医療サービスの提供に取り組んだ

(2) 医療人材の確保・育成

- ・医師の確保・育成のため、関連大学との連携強化や研修・研究の充実に努めた
- ・看護師の確保・育成のため、感染対策のための行動制限がある看護学生も参加できるよう、県立病院説明会をWebと対面の同時（ハイブリッド）開催とした
- ・勤務環境等の改善・充実のため、医師や看護師の補助者を適正に配置するなど、負担軽減に努めた

(3) 感染症・災害等への対応力の強化

- ・中央病院において、DMAT 隊員の育成・研修を行い、災害急性期の機動的対応能力の強化に努めた
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、各病院が院内の体制を見直し対応した

(4) 安定的な病院経営の確立

- ・中央病院において、引き続き診療材料の共同購入や後発医薬品の採用により、材料費の適正化及び節減に努めた
- ・丸亀病院において、引き続きデイケア、訪問看護の実施により、患者数の確保に努めた
- ・白鳥病院において、地域包括ケア病床の増床や積極的な運用により、収益の確保に努めた
- ・病院事業管理者や各院長等からなる「経営会議」を四半期に1回開催し、経営状況を迅速に把握・分析し、機動的な対応に努めた
- ・外部の有識者からなる県立病院経営評価委員会を開催し、経営改善の取組みの進捗状況等への外部評価を実施した

第3表 令和5年度県立病院事業損益計算書
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

1	医業収益			
(1)	入院収益	15,286,429		
(2)	外来収益	7,156,490		
(3)	その他医業収益	<u>630,596</u>	23,073,515	
2	医業費用			
(1)	給与費	14,426,565		
(2)	材料費	7,981,779		
(3)	経費	3,733,419		
(4)	減価償却費	1,703,051		
(5)	資産減耗費	39,871		
(6)	研究研修費	111,321		
(7)	長期前払消費税勘定償却 医業損失	<u>94,377</u>	<u>28,090,383</u>	5,016,868
3	医業外収益			
(1)	受取利息・配当金	2,248		
(2)	他会計補助金	550,517		
(3)	他会計負担金	2,874,463		
(4)	長期前受金戻入	916,124		
(5)	その他医業外収益	<u>273,611</u>	4,616,963	
4	医業外費用			
(1)	支払利息及び企業債取扱諸費	234,352		
(2)	雑損失 経常損失	<u>1,133,154</u>	<u>1,367,506</u>	<u>3,249,457</u> 1,767,411
5	特別利益			
(1)	過年度損益修正益	4,445		
(2)	その他特別利益	<u>9,436</u>	13,881	
6	特別損失			
(1)	固定資産売却損	39,784		
(2)	過年度損益修正損	64,575		
(3)	その他特別損失	<u>7,641</u>	<u>112,000</u>	<u>98,119</u>
	当年度純損失			1,865,530
	前年度繰越欠損金			<u>1,244,832</u>
	当年度未処理欠損金			<u><u>3,110,362</u></u>

第4表 令和5年度県立病院事業貸借対照表
(令和6年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部

1	固 定 資 産			
(1)	有 形 固 定 資 産			
	イ 土 地		2,580,612	
	ロ 建 物	23,983,097		
	同 減 価 償 却 累 計 額	<u>△12,342,533</u>	11,640,564	
	ハ 器 械 及 び 備 品	13,779,509		
	同 減 価 償 却 累 計 額	<u>△9,613,812</u>	4,165,697	
	ニ リ ー ス 資 産	50,418		
	同 減 価 償 却 累 計 額	<u>△46,376</u>	4,042	
	ホ その他有形固定資産	644,270		
	同 減 価 償 却 累 計 額	<u>△562,791</u>	81,479	
	有形固定資産合計			18,472,394
(2)	無 形 固 定 資 産			
	イ 電 話 加 入 権		<u>5,035</u>	
	無形固定資産合計			5,035
(3)	投 資 そ の 他 の 資 産			
	イ 長 期 前 払 消 費 税		<u>1,137,544</u>	
	投資その他の資産合計			<u>1,137,544</u>
	固 定 資 産 合 計			19,614,973
2	流 動 資 産			
(1)	現 金 及 び 預 金			8,253,458
(2)	未 収 金		3,400,929	
(3)	貸 倒 引 当 金		<u>△27,810</u>	3,373,119
(4)	貯 蔵 品			205,658
(5)	前 払 費 用			1,399
(6)	前 払 金			844
(7)	そ の 他 流 動 資 産			<u>2,783</u>
	流 動 資 産 合 計			<u>11,837,261</u>
	資 産 合 計			<u>31,452,234</u>

負 債 の 部

3	固 定 負 債			
	(1) 企 業 債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>17,695,337</u>		
	企 業 債 合 計		17,695,337	
	(2) 他 会 計 借 入 金			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	<u>75,208</u>		
	他 会 計 借 入 金 合 計		75,208	
	(3) 引 当 金			
	イ 退 職 給 付 引 当 金	<u>3,238,603</u>		
	引 当 金 合 計		<u>3,238,603</u>	
	固 定 負 債 合 計			21,009,148
4	流 動 負 債			
	(1) 企 業 債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>1,557,002</u>		
	企 業 債 合 計		1,557,002	
	(2) 他 会 計 借 入 金			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	<u>48,235</u>		
	他 会 計 借 入 金 合 計		48,235	
	(3) 未 払 金		1,956,157	
	(4) 引 当 金			
	イ 賞 与 引 当 金	812,162		
	ロ 法 定 福 利 費 引 当 金	<u>156,033</u>		
	引 当 金 合 計		968,195	
	(5) そ の 他 流 動 負 債		<u>105,180</u>	
	流 動 負 債 合 計			4,634,769
5	繰 延 収 益			
	(1) 長 期 前 受 金		11,964,973	
	同 収 益 化 累 計 額		<u>△9,500,264</u>	
	繰 延 収 益 合 計			2,464,709
	負 債 合 計			<u>28,108,626</u>

資 本 の 部

6	資 本 金		6,178,126
7	剰 余 金		
(1)	資 本 剰 余 金		
	イ 受 贈 財 産 評 価 額	20,600	
	ロ 補 助 金	5,250	
	ハ その他 資 本 剰 余 金	<u>249,994</u>	
	資 本 剰 余 金 合 計		275,844
(2)	利 益 剰 余 金		
	イ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	<u>△3,110,362</u>	
	利 益 剰 余 金 合 計		<u>△3,110,362</u>
	剰 余 金 合 計		<u>△2,834,518</u>
	資 本 合 計		<u>3,343,608</u>
	負 債 資 本 合 計		<u>31,452,234</u>